

令和7年9月26日

報道関係者各位

山県市

山県市最大のイベント

山県市ふるさと栗まつり2025 開催

10月5日（日）10時～ 山県市大桑 四国山香りの森公園

山県市ふるさと栗まつり実行委員会（会長 宇野 睦）は、山県市（市長 林 宏優 以下当市）が利平栗発祥の地であり有数の栗産地であることや、当市の魅力を市内外に広く情報発信し、交流人口を増加させ、地域振興に寄与することを目的に、山県市ふるさと栗まつり2025を開催します。

ふるさと栗まつりは、平成7年に合併前の旧高富町で始まったイベントで、途中台風などで3回中止もありましたが、今年で28回目の開催となります。

まつりでは、当市で取れた栗や栗の加工品を販売するほか、80店舗近い模擬店が出店します。また、香りドーム内特設ステージと芝生広場に設置する戦国ステージでは、創作和太鼓のステージをはじめダンスパフォーマンスなど多彩な催し物が盛りだくさんです。今年もバーチャルサイクリング体験ブースを設置するなど、多彩な催しでこどもから大人まで全員が楽しめるまつりになっています。

名 称	山県市ふるさと栗まつり2025
場 所	山県市大桑726-1 山県市四国山香りの森公園内
日 時	10月5日（日）10時～16時
主催者	山県市ふるさと栗まつり実行委員会 会長 宇野 睦
協 賛	ぎふ農業協同組合、岐阜乗合自動車 十六銀行、大垣共立銀行、岐阜信用金庫
対象者	市内外の来場者（約4万人予定）
催し物内容	別添チラシのとおり
会場までのアクセス	（車を利用する場合） ・ 会場周辺には駐車場が少ないため、実行委員会が指定する臨時駐車場を利用いただき、無料シャトルバスで会場までお越しください。 （公共機関を利用する場合） ・ 公共機関を利用する場合は、山県バスターミナルから無料シャトルバスを利用してください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市まちづくり・企業支援課

（山県市ふるさと栗まつり実行委員会事務局） 篠田

Tel：0581-22-6831 Fax：0581-22-2118

Mail：machi@city.gifu-yamagata.lg.jp

《参考資料》

■『利平栗（りへいぐり）』とは

日本を代表する栗の品種で、岐阜県山県郡大桑村（現山県市）の土田健吉氏が、昭和15年（1940年）に日本産の栗と天津甘栗に用いられる中国栗を掛け合わせて生み出した品種で、「栗の王様」と呼ばれています。

利平は土田家に代々伝わる家号「利平治」から名づけられました。

利平栗の特徴は、粒はふっくらと丸い形をしており、焙煎した上質のコーヒー豆のような独特の色合いと艶があり、甘味の強い栗です。



大粒で甘味が強い
栗の王様『利平栗』

■山県市産「栗」の特徴



山県市名山めぐり
イメージキャラクター
山県さくら

当市は、面積の約80%強を「山」が占める自然豊かな地域です。

8月下旬から10月初旬まで収穫され、山県市産の栗は香りと甘みが強く、ほっくりとした食感が特徴です。

この味わいを楽しんでいただくために、市内を流れる鳥羽川上流の澄んだ水を水源に、低樹高栽培や有機肥料活用などの栽培管理のもと、品質の高い栗を生産しています。

当市では利平栗のほか、丹沢、筑波、ぼろたんなどの品種もつくられています。

■山県市ふるさと栗まつり

平成4（1992）年、利平栗をテーマとして地元住民により開催された「栗まつり」から始まり、平成7（1995）年には、前年まで別に開催されていた「高富ふれあいフェスタ」と統合して、第1回ふるさと栗まつりが開催されました（いずれも旧高富町）。

以来、毎年恒例の行事として定着し、現在では、利平栗のみならず、山県市を広くPRする当市最大のイベントとなっています。栗まつりでは、各種団体の協力によるステージや出店、展示を開催することにより、“当市の元気と活力”を発信しています。

○主催 山県市ふるさと栗まつり実行委員会 会長 宇野 睦（山県市商工会長）

○過去5年間の開催実績

令和2年度 中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止

令和3年度 中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止

→代替イベントとして「ラジオで栗まつり」を生放送（無観客）ゲスト：三山ひろし

令和4年度 開催日 令和4年10月2日（日） 来場者：38,000人 ゲスト：田川寿美 など

令和5年度 開催日 令和5年10月1日（日） 来場者：40,000人 ゲスト：三山ひろし など

令和6年度 開催日 令和6年10月6日（日） 来場者：40,000人 ゲスト：早見優 など